

第5回水稲病虫害発生予察結果(伊豆市内)

4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

【稲の生育状況と栽培管理について】

コシヒカリの早生品種では幼穂が1.0～2.5cm確認できました。一発肥料を施肥していない方は穂肥のタイミングとなります。穂肥の施用方法については第4回水稲病虫害発生予察結果をご参照ください。

また、幼穂の生長には水が必要となりますので、引き続き間断灌水を行ってください。間断灌水は土壌中に酸素を供給し根張りをよくし、根の老化を防ぎ、健全な根を保つことで倒伏や下葉枯れを防止する効果があります。

【早生品種：病虫害の発生状況】

今回の調査でカメムシの発生が確認されております。今すぐに防除を行う必要はありませんが、出穂をするとカメムシは穂に被害を与え、斑点米の原因となります。出穂後に速やかに防除を行えるよう準備をお願いします。

また、田んぼの周りの除草を行い、カメムシの繁殖を出来るだけ抑えるようにお願いします。除草は出穂の約2週間前(10～15日前)に終わらせ、その後、収穫2週間前までは除草をしないようにする。(除草により、斑点米カメムシ類が水田に逃げ込むのを防ぐため)



《カメムシ防除の薬剤》

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
トレボン粉剤 3kg または スタークル粉剤 3kg	収穫7日前まで	散布	3～4kg / 10a	3回以内

5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおりSBL)

【稲の生育状況と栽培管理について】

現在の分けつ数は20本を上回っています。分茎本数が20本を確保できていれば中干しの適期となりますので、中干しを開始してください。田んぼに軽くヒビが入る程度まで行ってください。

【中晩生品種：病虫害の発生状況】

病虫害につきましては確認されませんでした。

J A ふじ伊豆修善寺宮農経済センター
担当：竹村
TEL：0558-72-4461